

台中市医師公会訪問記

副会長 宮里 達也



去る9月16日(土)から18日(月)の3日間、安里会長を団長とする16名が台湾を訪問し、姉妹会である台中市医師公会との親善交流を行った。台中市医師公会と本会は、平成16年2月に姉妹会を締結して以降、相互に訪問し友好を深めてきた。2021年のコロナ禍の影響により、相互の訪問を見合わせていたが6年ぶりに台湾訪問が実現したので、「台中市医師公会訪問記」として以下に掲載する。

台中市医師公会と沖縄県医師会の関係は2004年に始まった。沖縄県医師会元会長の稲富洋明先生が台湾生まれであり、台湾への思いが非常に大きかったことがきっかけとなった。当時の台中市医師公会理事長の王金明先生とで正式に姉妹会結盟が調印され始まった。その後、双方の会員・家族が現地を何度も訪問しあい交流を深めあってきた。

しかし、2019年に始まったCOVID-19の影響で現地訪問交流は困難な状況に追い込まれた。その間、台中市医師公会をはじめ、台湾の医師

会からは多数のCOVID-19対応医療資材の提供があった。また、首里城火災に関しては多額のお見舞い・支援金をいただいた。そのような事があり、安里哲好会長も早く交流会を復活させたいと強く希望し、今回の訪問となった。

沖縄県医師会会員9人、家族5人、事務局2人が9月16日に那覇を発ち桃園国際空港に到着した。残暑厳しい中、王博正理事長と林軼群秘書長が空港までお越しいただき恐縮した。空港から故宮博物館に直行した。通訳の張さんは展示物に関する専門知識が豊富でとても勉強になった。私はこれまで故宮博物館へは数度訪問した経験があるが、そのたびに高度な中国文明の世界遺産に感銘を受ける。その後、台中のホテルに移動した。

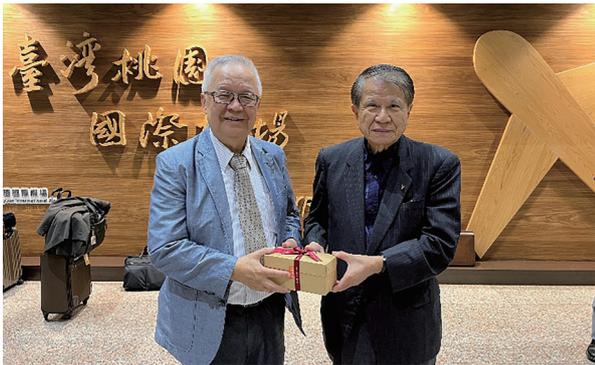
翌日は台中市内の日本とゆかりのある寺を訪問、台湾のお土産店でお土産を購入し、近くを流れる小川の川べりを散策した。その後、病院見学のため移動した。

仁愛総合医院(大里院)は二つの部分に分かれており、大病院であった。驚いたのは病院内

沖縄県医師会参加者（16名）

No.	役職名	氏名	同伴者	勤務先
1	会長	安里 哲好		ハートライフ病院
2	副会長	宮里 達也		北部地区医師会病院
3	常任理事	稲田 隆司	裕子 夫人	H&B クリニック沖縄
4	常任理事	照屋 勉	明美 夫人	てるや整形外科
5	常任理事	中田 安彦	和子 夫人 博子 様	愛聖クリニック
6	監事	幸地 賢治	幸子 夫人	眼科クリニック幸地
7	浦添市医師会理事	島尻 佳典		キンザー前クリニック
8	那覇市医師会理事	宮城 政剛		新川クリニック
9	南部地区医師会	盛島 明浩		勝連病院
10	事務局長	上原 貞善		沖縄県医師会事務局
11	庶務課長	崎原 靖		沖縄県医師会事務局

臺中市醫師公會歡迎沖繩縣醫師會訪臺行程	
2023年9月17日（星期日）	
PM 3:00~4:30	● 病院と産後ケアセンター視察 参訪醫院 視察先 仁愛総合医院（大里院） 地點 仁愛醫院（臺中）大里仁愛醫院
PM 5:00~6:30	● 懇談会 / 交流講座 会場 エバーグリーンローレルホテル台中 B2F 中港廳 地點 臺中長榮桂冠酒店 ① 「地域医療グループの実際の活動状況について」 「社區醫療群的實際運作情形」 （中國醫藥大學附設醫院 社區醫家庭醫學部主任兼健康醫學中心副主任林文元醫師） ② 「IT 医療連携について」 「關於臺灣 IT 和醫療結合（數位醫療）的現況」 （臺中榮民總醫院 骨科部主任兼智慧醫療執行長陳昆輝醫師）
PM 6:40~6:50	● 記念撮影 記念團體照
PM 6:40~9:00	● 歡迎懇親会 歡迎晚宴 会場 エバーグリーンローレルホテル台中 B2F 長榮一廳 地點 臺中長榮桂冠酒店 B2F 長榮一廳
PM 9:10~	● 二次会 二次會 会場 エバーグリーンローレルホテル台中 B2F 長榮一廳 地點 臺中長榮桂冠酒店 B2F 長榮一廳



台湾桃園空港でのお出迎え



宝覺寺

に数百人を収容できる講堂があったことである。おそらく病院の関係者は日ごろからここで熱心に勉強を行っていると思った。黄挺碩副院長から病院の成り立ちの歴史、現在の病院機能について説明を受けた。その後、病院内の産後ケアセンターを見学、極めて豪華な施設であり台湾の状況をうらやましく思った。

その後、宿泊しているホテルに移動、台中市医師公会から地域医療向上のための二つの取り組みの具体例を講演していただいた。

テーマ1は中国医薬大学付属病院の林文元先生による「地域医療グループの実際の活動状況について」であった。患者と医療の相互利益を目的に地域を分割しそこにある医療資源で社区医療群を設立して診療所が受け持つ外来治療

と病院が受け持つ入院治療が患者にとって最適になる仕組みであると理解した。日本にとって病院と診療所の連携については同様の課題がある、とても参考にすべき仕組みであると思った。

テーマ2は台中榮民総医院の陳昆輝先生による「IT 医療連携について」であった。台湾は世界に冠たる IT 先進国である。その台湾の医療分野における IT 活用はかなり進化していることを改めて知ることができた。

勉強会の後はお待ちかねの懇親会であるが、豪華な台湾料理を楽しみながら王理事長をはじめ数人の先生方の音楽専門家のような演奏会の後、カラオケ大会で大盛り上がりとなった。このような友好関係は平和のたまものである。両国に永遠の平和が続くことを祈った。

沖繩県医師会・台中市医師公会懇親会ご挨拶
台中市医師公会 理事長 王博正



安里会長、沖繩県医師会の皆様及び関係者の皆様こんばんは。

今回は貴会沖繩県医師会再び台中市をご訪問賜り、台中市医師公会全員 4,865 名会員を代表して私より興奮と感謝の意を表して、心から歓迎いたします。

2019年下旬頃、弊会は沖繩県医師会に訪問後、当年12月すぐに中国湖北省の武漢で新型コロナウイルスによる重症肺炎患者が報告されて、感染者数の急速な増加とともに多くの死者を出し、全世界が深刻な状況となっています。今年、セントラル疫病指揮センターから新型コロナウイルスが、5月1日から感染症法上の「第4級」になりました。この長い3年間、感染症対策や医療の現場で懸命に御尽力されてきた医療関係者の

おかげで一緒に乗り越えることが出来ました。

先程開催しました懇談会について、地域医療クラスターが病院と診療所の協力を強化し、より一層良い医療を提供できるように意見を交換しました。コロナ禍がもたらした日常の大きな変化は、どう受け止められているのか、IT医療の導入も必要になるでしょう。

数年にわたって相互に訪問し合うことで、非常に友好的な関係が築かれてきました。地震災害や台風、COVID-19の時も災害が発生した際に、日本の方々がすぐに援助の手を差し伸べて下さったことに深く感謝いたします。両会の相互訪問が何時までも続き、任期内に必ず沖繩県医師会を訪問し、さらに深い友情を築きあげ、両国の医療及び健康の質が向上することを望んでおります。

最後に、台中市医師公会を代表して、貴会の今後ますますのご発展を祈念いたします。

ご来賓の道中御無事を祈ります、万事順調に行きますように。



仁愛総合医院(大里院)視察



台中市医師公会との意見交換会



沖繩県医師会・台中市医師公会懇親会ご挨拶
 沖繩県医師会 会長 安里 哲好



台中市医師公会の皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、多くの先生方にお集まり頂き、盛大な懇親の場を設けて頂きまして心より感謝申し上げます。我々と台中市医師

公会は、2004年の姉妹会結盟から早くも20年が経過しました。長い年月をかけて築き上げてきた友好と深い絆、コロナ禍を経て約4年ぶりの再会という、この瞬間には、心からの喜びと深い感慨が込み上げています。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

また、王博正先生におかれましては、本年3月、台中市医師公会理事長にご就任されたことに対し、衷心よりお祝い申し上げます。今後とも台中市市民の皆様の保健・医療・福祉の向上にご尽力頂くと共に、引き続き沖繩県医師会と末永い交流をお願い申し上げます。

先ず始めに、これまで台中市医師公会と沖繩県医師会との友好・親善にご尽力を頂きました、本会前会長の宮城信雄先生が2021年7月12日にご逝去されました。葬儀の際には、台中市医師公会からもご丁寧なご弔意を賜りまして誠にありがとうございました。

さて、2020年、中国武漢市で発症した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に世界に拡大し、世界を震撼させました。

沖繩県でも2020年2月に最初の陽性者が確認されて以降、3年以上にわたり何度も大きな感染

の波を経験しました。この期間に沖繩県民の約147万人の約4割にあたる約57万人が感染しました。しかし、このような状況においても、私どもは、県立、大学、公立、民間の病院、そして地域の診療所がそれぞれの役割を果たしながら一体となって対応し、医療崩壊を回避することができました。

また、その間、台中市医師公会をはじめ、台湾国、台北市医師公会よりマスク、フェイスシールド等、大量の医療資材をご寄贈頂きました。当時は、世界的に医療資材が不足し医療現場でも極めて困難を来していた時期であり、皆様方の心温まるご配慮により、我々は励まされ勇気を与えられました。心より感謝申し上げます。

さて、1980年、沖繩県は男女ともに平均寿命日本1位を誇っていました。しかし、20年後の2000年には、男性の平均寿命が急激に低下し、26位にまで転落しました。さらに、2010年には女性も1位から3位に後退し、2020年には男性が43位、女性が16位にまで大きく後退しました。内容はこれから分析する予定ですが、2015年に分析した際、平均寿命順位後退の多くの要因は65歳未満働き盛り世代の健康状態の悪化に起因しました。本会では、「働き盛り世代の健康・死亡率改善」を最重要課題の一つとして、今期は「適切な血圧を管理する地域社会づくり」等、4つの健康施策を展開しています。

本日は、相互の諸課題について情報交換・情報共有を行うと共に、親交を深め、なお一層強い絆を紡ぐ機会になることを願っております。

結びにあたり、台中市医師公会と沖繩県医師会の姉妹会の発展と、ご参加の皆様方のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。



歓迎懇親会